

第5回 岬町子ども・子育て会議

第1回岬町次世代育成支援行動計画及びみさき健やか親子21推進協議会

会議録

平成27年2月4日（水）午後3時00分～午後4時40分

岬町子育て支援センター会議室

（開会）

- ・ 資料の確認
- ・ 岬町次世代育成支援行動計画及びみさき健やか親子21推進協議会会長の選出（岬町子ども・子育て会議会長が兼任）
- ・ 委員の出席状況の報告（岬町子ども・子育て会議12名中10名、第1回岬町次世代育成支援行動計画及びみさき健やか親子21推進協議会14名中11名出席により会議成立）
- ・ 情報公開にもとづく傍聴申出の許可確認（傍聴申出なし）

（会長） それでは議事に入ります。次第の案件（1）「特定教育・保育施設の利用定員の設定について」事務局から説明をお願いします。

（事務局）（説明）

（会長） ありがとうございます。この案件についてご意見・ご質問をどうぞ。

（委員） 55人で対応はできる予定です。平成26年度は30人ちょっとで、平成27年度は少し増え、現在48人になっています。ですので、55人に設定しておけば十分対応できるのではと思っています。

（事務局） 先程説明し忘れたのですが、利用定員は資料では年齢ごとに書いていますが、実際の利用定員を定めるのは、1号と2号は合計の数字です。3号だけは1歳と2歳の小計と0歳にわけて設定する必要があります。

（会長） 子育てしやすくしてどんどん若い人が入ってきて子どもが増えれば良いですね。

（事務局） 実態的には教育の内容も保育の内容も変わりません。ただ、教円幼稚園については、幼稚園型認定こども園に移行されるので保育を新たに始めることとなります。それともうひとつ、確認申請を行い利用定員を定めるのは、新制度にのる施設だけです。海星幼稚園はまだ平成27年度は新制度にのりません。今後、海星幼稚園がのると利用定員も設定されるので、より幅ができます。

（会長） ○委員の他にも関係する施設の方もいらっしゃいますが、いかがでしょうか。

（委員） 0歳が増えているのは、早く預けて働きたいお母さんが増えているからです。

（会長） 子どもが増えているというより、働きたい人が増えているということですね。

（事務局） 保育所については132や59といった中途半端な数字になっていますが、配置する職員の数も考慮しているのでこういった数字になっています。保育所の面積基準も関

係します。

(会長) 家から遠くなったりするという件はどうか。

(事務局) できるだけ受け入れるようにはしますが、0歳も1歳も定員に達すると受入は物理的に不可能だと思います。

(会長) 年齢によって人数が変わるということがあり得るということですね。

(事務局) 0歳はその年に満1歳になる子どもまでで、4月に満1歳になる子ども0歳児に含まれるので、そうすると1歳児と一緒に保育というのは無理ではないがキャパとしては12人が限界です。

(会長) 保護者の方もいらっしゃいますが、いかがでしょうか。

(委員) 淡輪幼稚園に通っていたが、施設の規模からみてこのくらいの人数が妥当だと思います。教室の数も限られているし、子どもの受け入れを増やすと危険度も増すと思います。

(会長) 定員を満たさなくても、今くらいが良いということですね。他に意見がなければ、原案の通り承認するという事によろしいでしょうか。

(異議なし)

案件(1)については終了します。

(会長) それでは案件(2)に入ります。「第2次次世代育成支援行動計画及びみさき健やか親子21策定にかかる基本的な考え方について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (説明)

(会長) 資料「(別紙1) 拡充した事業(13件)」の表についている記号の意味は何ですか。

(事務局) 注意書きがなく、申し訳ありません。計画の方向性のしるしで、●は新規事業、◎は拡充事業、○は継続事業です。

(会長) 評価実施状況の方はどうか。

(事務局) 評価実施状況の◎も拡充です。別紙1で示している事業はすべて拡充した事業で、別紙3は削除事業の一覧なので評価実施状況は×となっています。

(会長) 別紙3のNo.182「子育て、保育体験学習」は○になっていますが。

(事務局) これはNo.177と同じ内容だったので統合しています。

(委員) 別紙5のNo.20「相談体制の充実」の内容はこれで合っていますか。

(事務局) すみません、内容が間違っています。内容はまた差し替えになります。

(会長) 他にはいかがですか。

(委員) 多奈川保育所と小学校の併設は良さそうです。1年生が自分たちより下の子の面倒をよくみている。1年生対象で昔遊びの体験学習をしたら、保育所の子も参加して交流ができました。

(会長) このパターンは他ではどうか。

(事務局) 検討はしていますが、具体的にはなっていません。多奈川は昔から地域の人が学校に入り込んでいて地域に開けた学校づくりを目指していたので、保育所併設もすぐに地元を受け入れられた、という地域性があります。

(委員) 行事をすると児童の人数よりボランティアの大人の方が多いこともある。ボランティアの方がすごく多くて喜ばしいことです。

(会長) 地域の方が学校に深く関わってらっしゃるんですね。

- (事務局) 交流的なところと、学校はやはり教育の場というところとの兼ね合いがあるので、そこは保育所と学校の先生が話し合ってくれていると思います。
- (会長) 他に意見がなければ、案件(2)はこの考え方に沿って進めていきます。
次の案件(3)「(仮称)岬町子どもすこやか計画(素案)について」、事務局から説明をお願いします。
- (事務局) (説明)
- (会長) ありがとうございます。量が多いので目を通すのも大変ですが、何かご質問があればお願いします。
- (委員) 学童保育の時間延長はなかったですか。
- (事務局) 時間の延長ではなく、対象学年の拡充を行いました。36ページ①に記載されています。1年生～3年生が対象でしたが、平成25年から6年生までに拡充しています。
- (委員) 36ページ②は保育所だけのことですね。
- (事務局) 幼稚園は36ページ③、平成26年度から平日の預かり保育時間を16時までとしております。
- (委員) 勘違いしていました。
- (会長) その他はいかがですか。
- (委員) 素案第4章、36ページ「③公立保育園の預かり保育実施」の平成26年度の預かり保育利用児童数79人は延人数ですか、実人数ですか。
- (事務局) 実人数です。92人のうち、79人が利用されました。
- (委員) 預かり保育実施前に親の意向を聞くと、実施してほしいという要望が98%あったが、蓋を開けてみると「今日だけでいい」「今日はもういい」等の意見があり、もっと利用があると思いきり組んだが、1人という日もあれば10人くらいの日もあるという実態です。一番利用が多いのは、小学校の参観日。そのときで30人ほどの利用がありますが、毎日平均何人とはいえません。当日朝9時まで受け付けているので、当日申し込みもあります。その日によって違うので、把握に手間がかかっています。親からは、信頼できる先生にみてもらえるので安心と喜ばれています。
- (会長) この日は小学校で参観日だから利用が多そう等、事前にある程度予測ができる日もあれば、急な当日申し込みにも対応されているということですね。
- (委員) 親の要望に沿えるように努力しています。
- (会長) 職員の体制は大変ですね。
- (委員) そうです。把握が大変です。「言うのを忘れてた」という方や、水筒持参にしているが忘れてきた等、色んな問題も起きるので、その対応も大変です。
- (委員) 素案11ページ③幼稚園の利用状況の表「公立幼稚園における保育の状況」に預かり保育利用児童数87人とあったので、計算すると平均1日4人くらいの利用となり、制度の評価ができると思いましたが、今のお話を聞いていると利用児童数にバラつきがあるとわかりました。あと、火曜日に預けている人に話を聞くと、小学校になると火曜日は6時間授業で長いので、慣らすために預かり保育を利用していると聞きました。
- (委員) 火曜日と木曜日の利用が多く、なぜ多いのか疑問でした。水曜日の利用が少ないのは授業が短いから少ないのですね。

- (委員) 素案 36 ページの 79 人は 92 人中実際に利用された人数ということですね。もうひとついいですか。素案 38 ページ「保育所等の耐震化」とありますが、「等」には幼稚園も含まれていますか。
- (事務局) 幼稚園は耐震診断した結果、耐震性ありという結果が出ています。ここでいう「等」は子育て支援センターを指しています。ここは耐震診断していません。平成 27 年度で小学校の耐震化は完了します。中学校は新しいので耐震化する必要ありません。幼稚園も耐震診断の結果耐震性ありとなっています。教育施設はこれですべて大丈夫といえます。次は保育所ということになります。多奈川保育所は小学校の中に入っているので、安全性は確保できています。
- (委員) 診断の中には、建物の安全性以外に非構造部材もあります。非構造部材に関してはまだすべての教育施設で診断できていない。教室や細かいところはまだ診断できていないと思います。幼稚園も調査していただきたいと、昨年度から教育委員会にお願いしていますが、やはり平成 27 年度以降という回答がありました。
- (事務局) 国が示しているのは、まず大きなホール等の非構造部材の調査をする。中学校は平成 26 年度に一部非構造部材の調査をしました。財源的にも一気にするのは厳しいので、順次していきます。
- (委員) 老朽化も進んでいると聞いています。必ず改修が必要なわけではないので、調査だけでもしていただきたいです。
- (事務局) 耐震化には前回も意見を頂いています。折衝していますが、なかなか予算もつかない状況です。ですが、引き続き取り組んでいきます。
- (委員) 勝手に「等」の中に学童保育も入っているかと思っていました。淡輪学童保育の予定はどうですか。
- (事務局) 淡輪学童保育は来年度、棟を耐震化する予定です。年次計画に沿って進めています。
- (会長) 他はいかがでしょうか。
- (委員) 素案 71 ページ、表「教育・保育提供区域の状況」0～5 歳児人口 (H21. 4. 1.) となっていますが、他は平成 26 年度ですが、ここは平成 21 年度で良かったですか。
- (事務局) 平成 21 年度から平成 26 年度で、どれほど変動があったか比較するために載せています。
- (会長) その他はありませんか。なければ、この内容で進めていきます。もうひとつ、本計画の名称を検討したいと思います。事務局から仮称ということでいくつか案が出されていて、別紙資料「ネーミング案」が皆さんのお手元にあると思います。他の自治体、大阪府や岸和田市等でも独自のネーミングを使っているところがあります。岬町でも長い正式名称ではなく、独自のネーミングをつけようという提案です。ネーミング案 1～6 で何か事務局の思いがありますか。
- (事務局) 「輝く」というワードは岬町次世代育成支援行動計画や子ども・子育て支援事業計画の中で使っています。「すくすく」は国の子ども・子育て支援新制度の愛称がすくすくジャパンといいます。そのあたりからヒントを得て案を出しました。他にも委員から案があれば出していただいで、パブリックコメントも後日あるので、本日ネーミングを決めて頂ければと思います。
- (会長) ありがとうございます。この事務局の 6 つの案に限らず、他にもあれば提案してい

ただきたいです。

- (委員) 「1. 岬町子どもすこやか計画」がすっと通りやすいと感じます。ただ、「すこやか」は漢字にした方がいいのではないかと思います。私は1番がいいと思います。
- (会長) みさきと岬、計画とプラン等、漢字やカタカナによっても印象が変わります。○委員からは「すこやか」は漢字で、1番がいいのではという意見でした。他の委員はいかがでしょう。
- (委員) 漢字で「岬町」、ひらがなで「みさき」とあるのは、何か思惑があつてのことではないですか。
- (事務局) 先程話にもでたように、イメージ的なこともあるので、漢字やひらがなにしています。
- (会長) 例えば和泉市だと「応援プラン」なので、市として応援しますという意図が入っているように私は感じます。
- (事務局) どの市町村も地域や住民との協働ということなので、和泉市全体で応援していこうということではないかと思う。よければ順に委員に聞いていただきたいと思います。
- (会長) では順番にどうぞ。
- (委員) 次どうぞ。
- (委員) 「応援」という言葉はいいと思います。1番もいいと思います。
- (委員) ひらがなで「みさき」というのが柔らかくていいと思います。2番か3番がいいと思います。
- (委員) 「応援」が入っているので、2番がいいです。
- (委員) とくにこだわっていませんが、ひらがなばかりが続くのは気になります。
- (委員) どれも甲乙つけがたいですが、個人的に、子どもにも輝いてほしいが、親が輝いてこそだと思うので4番がいいと思います。
- (事務局) これは決めかねますね。
- (委員) 話をややこしくしてしまいましたが、私は6番です。
- (会長) いろいろ意見がわかれますね。
- (委員) 私は4番。「親」という文字が入っている。親が輝いて子どもも輝くのではないかという思いから4番がいいと思います。
- (委員) 私は「すこやか」「すくすく」は赤ちゃんをイメージしてしまいます。今回のこの計画は年齢の幅が広い。内容が子育てのことがメインなので2番がいいと思います。
- (会長) 親と限定せず、自分の子ども以外も育てるという意味で「大人」とかの方がいいかとも思います。子育ては大人や地域がするもの、「子どもすこやか」や「元気になってほしい」というのも必要でしょうか。
- (委員) 事務局一任で。
- (事務局) 4番は「輝くプラン」という語呂がもうひとつ。現在の岬町次世代育成支援後期行動計画に「豊かな自然と地域の力に包まれて一人ひとりの子どもが 親が輝くまちづくり」というサブタイトルがついています。
- (会長) パブリックコメント実施までにこのネーミングが決まっていた方がいいのですか。
- (事務局) パブリックコメントでは「子ども・子育て支援事業計画」として出しても構いません。

ん。とりあえずその名称で出して、あとでネーミングを考えるとということでも構いません。

(会長) 事務局ではなく委員で決めるというのがこの会議の本来の姿だと思います。次回会議でそれぞれご提案いただいて、事務局の案からでもいいので、必ず1人1つ提案してその中から選ぶということでどうでしょうか。ネーミングの件についてはそのようにさせていただきます。それでは次に、本日の意見を踏まえて計画策定の作業に進めたいと思います。案件(4)「計画(素案)のパブリックコメントについて」、事務局から説明をお願いします。

(事務局) (別紙資料「(仮称)岬町ことすこやか計画(素案)パブリックコメント募集(案)」について説明)

(会長) これでパブリックコメントの募集ということによろしいでしょうか。

(事務局) 言い忘れましたが、「(仮称)岬町子どもすこやか計画(素案)」という名称で出すことをご了承いただきたいです。

(会長) 他に委員から言い忘れたことはありませんか。なければ事務局から連絡事項があればどうぞ。

(事務局) スケジュールですが、このあとパブリックコメントで意見をいただいて、それを踏まえて案を審議していただく。前回では3月18日(水)で日程調整をお願いしていましたが、3月19日(木)では予定はどうでしょうか。

(委員) 19日は会議が入っています。18日は小学校の卒業式ですが、午後は大丈夫だと思います。

(事務局) 日程は再調整して連絡させていただきます。あとひとつ、パブリックコメントをかけますが、府との協議が残っています。その中で、府から修正要請があるかもしれません。それは事務局で対応させていただくということをご了承いただきたいと思っています。

(会長) 委員からもあとで意見があれば事務局へ申し出してください。
本日はお忙しい中ありがとうございました。

午後4時40分 (閉会)